

## 森林インストラクターの森活動報告(シカ対策ネット内の手入れ他)

期 日：2021年5月23日(日)

参加者：7名(池田、桂、田崎、辰尾、星野、本田、森永)

報告者：森永

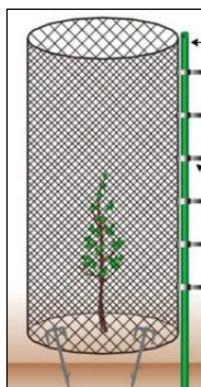
本年度より試みている「森づくり作業」の頻度増に伴い、ときがわでの作業は2週間前に続き今月2回目となります。これまでの毎月第2日曜とは異なり第4日曜というタイミングでしたが、参加人数7名があり、天候も曇りから後で青空が広がる山仕事にはまずまずの条件となりました。

せせらぎホール駐車場に定刻集合後、車2台に分乗して現地へ。現地近くの駐車スペースに前回停められていた大型重機は姿を消しており、今日は移動用の2台を並べて駐車できました。森では気の早いエゴノキやオオバアサガラ、ヤマボウシ等がもう開花しており、それらをめでながら恒例のストレッチと野外席仮設の準備作業を済ませます。

本日は、まず現地の状況確認のため全員で植栽地一帯をひと廻り。年度計画の上では下刈りの予定でしたが、前回に準じて植栽木と競合する下草類の繁茂は顕著な感じではありません(右写真)。そこで、作業内容を変更して、植栽木の一部に設置しているシカ対策ネット内の手入れをメインに、資格講座に使用する名札作成等も分担して行いました。



植栽木(ヤマツツジ)と下草の状況



シカ対策ネットは左図のような構造のものです。植栽から数年を経過してネット内の植栽木にツル被害等が生じている個体が多くなっています。そのような個体ほど、まだシカの食害を受けやすい樹高に抑えられているため、今回は一旦ネットを外して適宜ツル伐りや下枝剪定等を行い、再度ネットを設置する形で作業を進めましたが、慣れない手順に苦しみ、作業の進捗は十分には得られませんでした。

コロナ禍とはいえ、作業終了後の昼食とコーヒーは、気持ちが安らぐひとときで、森の話題も色々と。下草の生育について、桂さんによれば、台風19号時(2019)の表土流出が去年今年と影響しているのではとのこと。重労働である下刈りの作業量が軽減されるのはありがたいですが、今後は生育途上の植栽木管理を効果的に行うための、新たなノウハウも必要かと思ったりしました。



新緑の下、昼食後のひととき

ときがわ次回は6/13(日)の予定です。開花期が前倒しで進む今年の陽気では、ナツツバキ等の花もみられそうなので、雨とまらないことを願いたいものです。